



首都圏

# さんりく大船渡人会会報

編集・発行  
首都圏さんりく大船渡人会  
事務局  
〒145-0064  
東京都大田区上池台  
1-32-11-303  
TEL/FAX 03-3729-5431

## 特集

## コロナ禍でふんばる ふるさとゆかりの人達

### 年頭のご挨拶



明けましておめでとうござい  
ます。二〇二一(令和三)年の  
年頭のご挨拶を申し上げます。  
昨年一年はコロナ(WHOの  
正式名称はCOVID-19、ウイル  
ス名はSARS-CoV-2)に始まり、  
コロナで暮れた年でもありまし  
た。そのため会の活動も大幅に  
制限され、直接の会合等も中止  
をせざるを得ませんでした。  
これは今年に入っても続くこ  
とと見なされ、会の活動は今し  
ばらくの辛抱をお願いするほか  
はありません。恐らくワクチン  
および治療薬が行きわたるまで  
活動は容易ならざるものがある  
と推量されます。さしあたりの  
当会で企画している「**東日本大  
震災十年の行事企画**」等も**制限  
を免れ得ない**かもしれません。  
今のところ、首都圏さんりく  
大船渡人会の会員が罹患したと  
いう情報等は事務局に入っては  
いないのですが、会員のみなさ  
ま、関係各位のご無事であるこ  
とを衷心より祈念をするばかり  
であります。  
会員のみなさまにおかれまし  
ては、くれぐれもご自愛をいた  
だき、また会合でお会いいたし  
たいものと存じ上げます。  
首都圏さんりく大船渡人会  
会長 門馬幸夫

### 金津流横浜獅子躍 コロナ退散祈願「鎮魂」



令和二年十二月二十日、篠原  
神社(横浜市港北区)にて、黒  
川さんさ踊りを学ぶ横浜グル  
ープ、以前人会の集いで演舞して  
くれました東京鬼剣舞と、**金津  
流横浜獅子躍の三団体による毎  
年恒例の鎮魂(たましずめ)**が  
行われ、行ってきました。  
昨年は皆揃っての練習もまま  
ならず、出演の予定があったイ  
ベントも多くが中止となり  
活動の場が今まで以上に限られ  
てしまいました。  
東京タワーさんままつりや大船  
渡tO大船渡にも出演していた、  
金津流横浜獅子躍の昨年の活動  
は、十一月の普通連土学園(東京  
都港区)で東京鬼剣舞と共にワ  
クショップと公演、そして年末  
の鎮魂のわずかに二回でした。  
鎮魂ではコロナ退散祈願も込  
め奉納の舞が行われました。練  
習の機会が少なかつたとはいえ、  
躍り手八人全集中の息の合った  
演舞は、冬晴れの青空に映え、

とても見ごたえがあったのでは  
ないでしょうか。  
「獅子躍は神、仏の使い!梁  
川の庭元からよく聞かされまし  
た。修行を積んだ神官さんやお  
坊さんの無駄の無い所作、朗々  
と唱えられる祝詞やお経は我々  
の心を癒やし、清めてくれます。  
横浜獅子躍もそうでありたいと  
思っています」と代表(中立な  
かだち)である吉田奏久さんが  
話をしてくれました。その姿勢  
が現れた躍りでした。その姿勢  
皆で集い、郷土芸能の堪能で  
きる機会が増えることを楽しみ  
にしています。  
金津流横浜獅子躍  
HP <http://www.shishiodori.net>  
<http://www.shishiodori.net>  
com/index.html(取材 坂井久子・  
鈴木浩二・撮影 新沼若保)

### 『大船渡オーケストラ』へ

「大船渡にオーケストラを作る  
会」は、二〇二〇年一月に大船  
渡出身の音楽家と地元音楽愛  
好家が発起人になり発足しまし  
た。コロナ禍で、活動は六月か  
らになりましたが、月に三日間  
**ヴァイオリンの講師を大船渡に  
派遣し、合奏の基礎を学んでい  
ます。**会員は毎月増えており三  
十名を超えています。まだ、拙  
い演奏ではありますが、地元  
の方の勉強熱心さには、私達も頭  
がさがります。四歳から七十代  
と、年齢層が広いのが特徴です。  
**今年三月に、大船渡で第一回  
の発表会を行います。**弦楽器指  
導者不在が、半世紀以上続いた  
地域でしたが、震災で沢山の音  
楽家の演奏の種がまかれ、今やっ  
と芽が出てきたと思いい、「心の  
復興」に少しでも役に立てたら  
とおもっています。  
地元企業に寄付を募り、チェ  
ロを四台所有しましたが、楽器  
の取り合い状態になりつつあり、  
あと四台は欲しいところです。  
ご賛同下さる方々、大船渡に  
オーケストラを作る会を、「大  
船渡オーケストラ」と名乗れる  
ように、ご協力お願いします。  
(音楽家 桑原裕子)



小さなお菓子里に真心をこめて

株式会社 **鳴の玉子** 東京支店

〒105-0004 東京都港区新橋1-15-7 新橋NFビル2階  
TEL 03-3509-6648 FAX 03-3509-6673

# GOTO 大船渡市

## ゆかりのお店へ

### 居酒屋がんばっぺし 横浜本店・桜木町店

二〇一一年三月十一日の震災をきっかけに創業した「がんばっぺし」さん。震災の五日後からトラックで横浜から大船渡に物資を運んでいた。やり続けられる事は何か、色々模索した結果、被災した友人や知人と地元食材を使った海鮮居酒屋で地元の援護をしようと、同年七月に横浜西口エリアにオープンした。

の大粒イクラなど。二〇一九年から全国展開を目標にフランチャイズ展開を始めたところ、昨年のコロナによって計画は全てトンザし、直営四店舗も賃料の高い六本木、相模原駅ビルを閉店、現在は昨年十一月のテレビ「アド街ック天国」で取り上げられ、好調な横浜本店と横浜桜木町店の二店舗で時短営業中。今後は、終息の見えないコロナと向き合い共存していく手段として「コロナ検査センター」を展開すること、コロナ禍で大変な思いをしている全ての方々と助け合いながらいきて行く活動に全力で取り組んで行く。



オーナー海宝常次  
(本名鎌田直樹) 末崎町出身  
<http://www.ganbappeshi.jp/>  
平常時:平日ランチ十一時半〜十三時 デイナート十七時〜二十時(宣言中は八時閉店)  
△特典▽「会報見ました」で、生牡蠣か焼き牡蠣まるまる一個プレゼント(赤崎産か小友産)

### 厨房酒場カモメセラ

銀座の路地裏にある古い雑居ビルの四階にある。看板は蝶ネクタイのカモメをモチーフにしたロゴマークのみである。同じ趣味嗜好のお客様が集う、会員制のバーである。

オーナーの佐々木徹勝さんは盛町出身。銀座で店を始めて十年になる。先日はサントリーが発行する業界誌の表紙を飾り、特集記事も組まれる名店に育て上げた。

厨房酒場だけあって、三陸わかめ、ホヤの塩辛から、パスタ、ローストビーフまで、豊富なおつまみと洋酒が楽しめるバーである。人気のドリンクは「モヒート」、実山椒やアールグレイ(紅茶)をミックスしたのもあり、こちらも多種多様。

現在は緊急事態宣言下で営業時短要請に応じて夜八時閉店にしており、テイクアウトや、大船渡の加工食品会社と連携して「アワビの酒蒸し」「三陸カキ葱オイル漬け」などのネット販売にも注力している。まずはお



電話か、ホームページから訪ねてみていただきたい。  
営業時間:十五時〜朝四時(日曜〜十時) \*現在は八時閉店  
電話:〇三三五六九二七二八  
ホームページ: kamomecellar.jp

### 酒・食事処 うしお

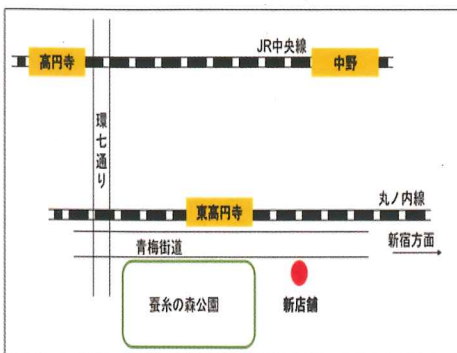


綾里出身の唐沢チカ子さん、東京オリピックの年に東京で飲食の仕事始める。手作りの四季折々の家庭料理はどれもなじみ深い料理ばかり。ランチの魚がメインのヘルシーな定食は勿論、夜は酔仙酒造の様々なお酒をお供にゆっくり食事を楽しめる、大船渡の人に会える店。

東京都中央区銀座8-10先  
銀座ナイン2 地下一階  
〇三三五七二二三〇七三  
営業十一時半〜十四時半  
十六時半〜二十三時(日祝定休)  
(三軒取材 鈴木浩二)

### 三陸SUNから 重要なお知らせ

四年間営業してきた高円寺のお店を移転することとなりました。最終営業日は三月七日です  
【移転先】東京都杉並区和田三十五十九九第三加部ビル一階  
開店二〇二一年三月二四日



# 三陸大船渡寿司

武蔵村山のお寿司やさん盛町生まれ。大船渡の若大将という寿司屋で腕を磨いていた店主の新沼参一さん。震災後に縁あって、武蔵村山市で寿司をにぎりつづける場を持つことができたそうです。

今は息子さんも一緒にカウンタ―にたち、息のあった動きでテキパキと提供する姿は気持ち良かったです。

お寿司の他に、ステーキなども本格的な料理も提供。宴会ができるお座敷もあります。お店カウンタ―に並ぶポトルキーブの瓶の数をみて、武蔵村山市の皆さまに愛されているのがつたりました。

ランチはお寿司と小皿、お吸い物、ミニうどんもつきます。東京都武蔵村山市本町二・八〇一  
電話 〇四二五二〇九〇三六



## 秋刀鮪だし宣久

開店五周年の日に取材。店主の松本久夫さん、出身は立根です。

さんまと鮪の出汁を使うラーメンは、程よい脂が自家製麺にからまります。チャーシューそばには柔らかいチャーシューがたっぷりのり、一番人気メニューには仙台から取り寄せているワントンそばもあります。自家製の出汁たまごは中がとろっとしていて食欲をそそること間違いなし！

コロナ禍の中ですが、頑張って営業されています。

水曜日定休。  
ランチタイムは十一時半から十四時半  
夜は通常十八時から二十一時  
しばらくは十八時から二十時。  
場所は京王線芦花公園駅から徒歩十分  
(二軒取材 中澤紀子幹事)



## レストランオックス

創業は昭和五十五年六月。コロナによる緊急事態宣言で昨年からは今年と団体客や家族連れが少なくなり、開業以来の困難に直面しております。

お勧めメニューはミックスフライ(ヒレカツ・エビフライ・ホタテフライの三点盛り)

特典「会報を見て来店」のお客様には、なんと！エビフライ一本サービス。

荒川区東日暮里五十四八・五日暮里駅から五分

ホテルランゲウッド隣り  
電話〇三六八〇六六六一七

経営者 佐藤忠男 大船渡町出身  
営業日 日曜日のぞく毎日

時間十一時から二時半 五時から八時(通常は九時頃)

詳細はフェイスブックをご覧ください(取材 大船渡高校同窓会関東支部長 鈴木毅幹事)



## グループSUN展

「ふるさとを想い」

「SUN」は、太陽という意味の他、三陸、震災のあった三月など、様々な「さん」の意味を込めています。

第一回は、二〇一四年三月、盛岡市の盛久ギャラリーで開催されました。第二回は、二〇一九年七月、銀座兜屋画廊で十一日間、ふるさと若手に想いを寄せて、同郷同窓の仲間と三浦家族による油彩、水彩、イラスト、書の作品展を開催。若手県人連合会、気仙のふるさと会、在京白垂会など、芸術を愛する人々の交流の場となりました。

二〇二〇年は、新型コロナ禍の中、静かに開催。二〇二一年三月九日、一九日、銀座兜屋画廊で、震災十年様々な想いを込めて開催します。激変の世界に身を置いて、有史以来の表現活躍の意味を深く感じ考えています。(当会副会長画家 三浦千波)



三浦千江美さん、三浦望愛さん、三浦千波

## 三陸おでんを名物に!



二〇二〇年十一月二十六日に三陸の豊富な食材を使ったご当地おでんをブランド化する為、地域活性化総合研究所(代表取締役・新沼謙治)と市内の飲食店による任意団体「三陸おでんの会」(菅生正一代表)が設立されました。大船渡を始め宮城県石巻市から青森県八戸市までの飲食店などに参加を呼びかけ、三陸のご当地おでんとしてブランド確立のための活動が始まりました。

参加店への条件としては一定割合の三陸の食材を使用することや、専用の特設サイトでPRすると共に共通ののぼりを配布。早速、大船渡市内でそば店を営んでいる「千秋庵」から、鯉節のだしと気仙の酒蔵「酔仙」のお酒を使用したシンプルなおでんが仕込まれた、だしが染み渡るおでんの提供が始まっています。

その他、活魚すしやポルコロツソなど市内の様々な店舗で拡大中です。(三陸SUN福山陽平)



【期日】  
二〇二一年十一月二十日(土)  
正午から

【場所】  
日暮里『ホテルラングウッド』  
飛翔の間

を予約しております。  
昨年2020年は、残念ながら開催できませんでした。  
今年度はなんとか開催にこぎつけられるよう願っております。

2021(令和3)年第36回  
首都圏  
さんりく大船渡人会集い  
11月20日に開催  
のお知らせ



三浦慶一相談役退任

いつもにこやかな笑顔でご指導いただいた三浦さん、集いには第一回から参加しておられました。ありがとうございました。  
集いでまたお会いしましょう！

【経歴紹介】

- ・大船渡市赤崎町出身
  - ・昭和十二年生まれ(八十三歳)
  - ・大洋産業株式会社「タイサン」入社
  - ・在京大船渡人会創立時よりタイサン社員として運営に従事
  - ・大船渡高等学校同窓会運営に従事(支部長)
  - ・第一回(一九八五年)〜三十五回集い(二〇一九年)まで入社同期の平山晃也さんと共に連続出席
  - ・平成三十(二〇一八)年三月十日拡大幹事会にて講演
  - 「首都圏さんりく大船渡人会の創立から今日までを振り返って」
  - ・首都圏さんりく大船渡人会監事・相談役を歴任(現在に至る)
- (相談役 盛町 新沼岩保)

新役員名簿

二月現在の人会役員・幹事の名簿です。今年の集い、何とかお会いしたいと思っています

(順不同・敬称略)

- |       |           |
|-------|-----------|
| 会長    | 猪川 門馬 幸夫  |
| 副会長   | 綾里 佐藤 昭二  |
|       | 赤崎 藤原 ミツコ |
|       | 盛 三浦 千波   |
|       | 大船渡 保原 幸夫 |
| 相談役   | 大船渡 里神 淳  |
|       | 盛 新沼 岩保   |
| 事務局長  | 盛 鈴木 浩二   |
| 事務局次長 | 大船渡坂井久子   |
| 事務局   | 盛 中澤 紀子   |
|       | 大船渡 熊谷 真美 |
| 監事    | 綾里 大久保 善成 |
|       | 吉浜 安田 美和子 |
|       | 立根 千葉 明彦  |
|       | 末崎 佐藤 弘規  |
|       | 吉浜 柏崎 耕平  |
|       | 大船渡 永澤 信見 |
|       | 赤崎 須賀 美保  |
|       | 日頃市 高梨 寿帆 |
|       | 盛 保原 伸二   |
|       | 盛 佐藤 隆雄   |
|       | 立根 鈴木 毅   |
|       | 末崎 尾形 昨夫  |
|       | 日頃市 上関 征治 |
|       | 大船渡 石鍋 博子 |
| 新任幹事  | 盛 吉田 亨    |
|       | 猪川 斎藤 克摩  |
|       | 綾里 高城 楓   |
|       | 越喜来 鎌澤久也  |

「サラダチキン」で全国に知られるアマタケさんが、毎年新年にテレビにくぎ付けになる「箱根駅伝」のユニフォームスポンサーになりました。

今年度から大学駅伝のユニホームにスポンサー制度が導入され、シャツの右上、パンツの右下にスポンサー名やロゴが表示できることになったためです。テレビでちらっとご覧になった方も少なからずおられたと思います。

【(株)アマタケさん箱根駅伝 専修大学のスポンサーに】

アマタケ前社長甘竹秀雄氏が専修大学校友前会長というご縁で、これまでもさまざまな面で専修大学を支援されてきました。スポーツのスポンサーは同社にとって初めてのことです。順位は二十位でしたが来年の健闘を祈ります (右吉田亨幹事)

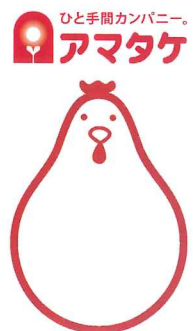


編集後記

●今回の会報は、コロナ禍で苦勞されている、大船渡市出身の飲食店の方々取材をした。かなりデリケートな取材が数多くあった。その中のおひとりを紹介したい。

●震災の年、十歳だった少年は、家業を継ぐ決意を固め東京へ修行に出る。十年後、今年成人式を迎える青年をコロナが襲い、勤務先は閉店する。やむなく大船渡へ帰ることになる。「まだ一番下っ端なんで」との携帯の声、不安な状態なのに澆刺と話す。実家で修行し、また東京に戻るといふ強い意志を感じた。

●剣豪と名を同じくする彼、若いにもかわらず私の健康にまで気をつかってくれる優しさ、くじけない強い意志に感服した。捲土重来を祈る (事務局長 鈴木浩二)



【会員募集！】

首都圏さんりく大船渡人会では会員を募集しています。ご友人や若い方に広くお声掛け下さい。

〈連絡先〉

- 市役所 企画調整課係長
- 互野伸 0192-27-3111(内216)
- 事務局 鈴木浩二 090-1555-5439
- \* 各町、地区幹事でも結構です